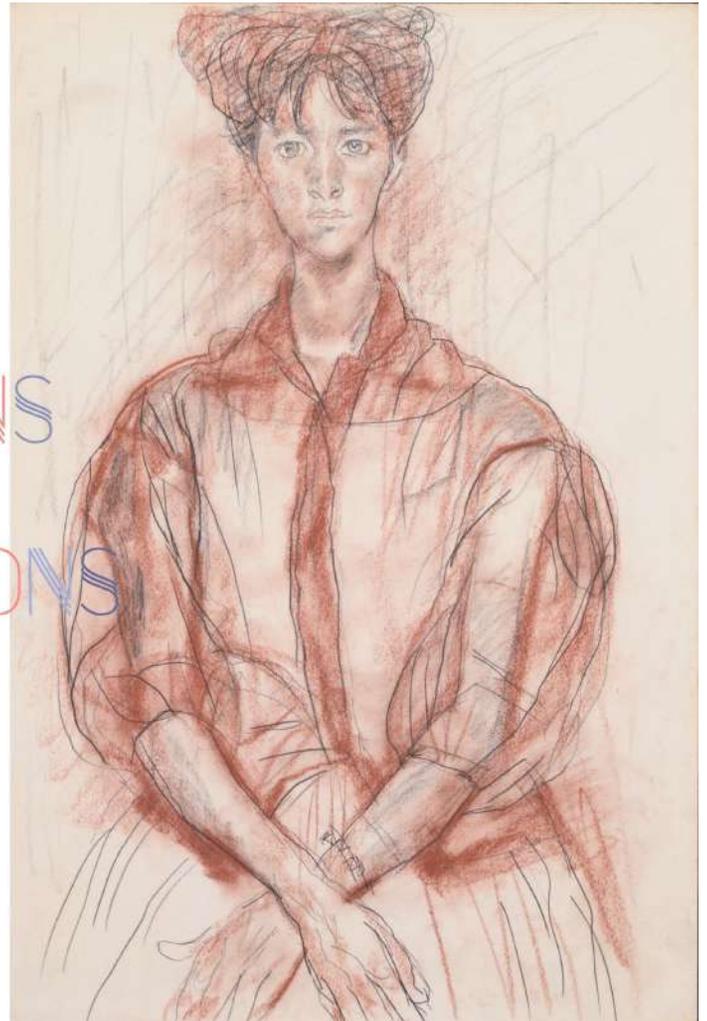


宮本三郎  
絵画の  
変奏曲

PATTERNS  
AND  
VARIATIONS



2023 10.7 sat. → 2024 3.10 sun.

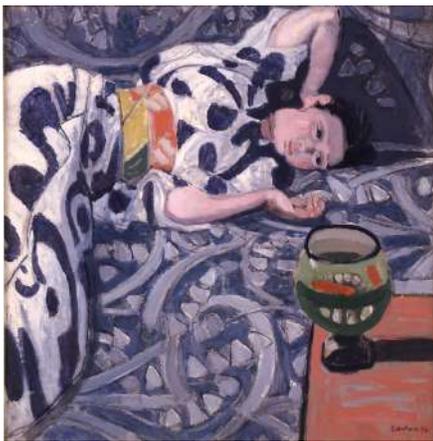
⑥

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館 Miyamoto Saburo Memorial Museum

展覧会名 PATTERNS and VARIATIONS 宮本三郎 絵画の変奏曲  
会期 2023年10月7日(土)～2024年3月10日(日)  
会場 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館 Miyamoto Saburo Memorial Museum  
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13 TEL:03-5483-3836 [www.miyamotosaburo-annex.jp](http://www.miyamotosaburo-annex.jp)  
主催 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館  
開館時間 10時～18時(最終入館は17時30分まで)  
休館日 毎週月曜日 ただし、10月9日(月・祝)、1月9日(月・祝)、2月12日(月・祝)は開館、  
10月10日(火)、1月10日(火)、2月13日(火)は休館、年末年始12月29日～1月3日  
観覧料 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上・中小生100円(80円)、障害者100円(80円)  
ただし小・中・高・大学生の障害者は無料、介助者(当該障害者1名につき1名)は無料  
※( )内は20名以上の団体料金  
※世田谷区内在住・在校の小・中学生は土、日、祝・休日は無料

①



②



③



④



⑤



①《金魚鉢と女》 1936年

②《(室内裸婦)》 1937年

③《画室の裸婦》 1954年

④《裸婦》 1954年

⑤《青い背景》 1960年頃

①～⑤ すべてカンヴァス、油彩

⑥《(婦人像)》 1960年頃 紙、鉛筆、コンテ

※( ) は作品名不詳のため仮題

□各画像は広報用として提供しております。

ご希望の際は広報担当までお問合せください。

洋画家・宮本三郎（1905–1974）の画業を振り返ると、めまぐるしいほどの画風の変遷に驚かされる一方で、ひとつの主題をさまざまなヴァリエーションで描いていたことがわかります。

たとえば1930年代半ば頃の、浴衣をまとった女性を描いた作品では、背景に配したテキスタイルや金魚鉢など、マティスの影響を思わせるモチーフが共通する作例が複数存在します（図版1,2）。

それらは同じ画題を描きつつも、モデルのポーズや構図、あるいはカンヴァスの寸法そのものにも違いがみられるなど、宮本の創意工夫と試行錯誤の跡がみてとれるものです。

ほかにも、同じセッティングで裸婦を描きつつ、抽象化の度合いを幾通りか試した1950年代の一連の作品や（図版3,4）、同一のモデルに同じようなヘアスタイルやポーズをとらせながらも（図版5,6）、全体をまとめる色調を赤、青、緑などに変えて制作を重ねるなど、画面上に変化をもたらす実験的な試行の痕跡がうかがえるものもあります。

これらは単に本作と習作といった関係性にとどまらず、画家の創造のヴァリエーションとして、また、宮本の探求心の表れとして、鮮やかな印象を放っています。宮本が制作の拠点とした、アトリエ兼住居に遺された作品群をまとめて収蔵する宮本三郎記念美術館ならではの彼の着想そのものに触れることのできるコレクションといえるでしょう。

宮本三郎の旺盛な探求心によって展開される、絵画の変奏曲をお楽しみください。

## □宮本三郎(みやもと・さぶろう)について

1905年5月23日に現在の石川県小松市松崎町に生まれ、1935年7月より世田谷区奥沢にアトリエを構えた、昭和を代表する世田谷区ゆかりの洋画家です。

川端画学校で富永勝重、藤島武二、また個人的には安井曾太郎に指導を受け、戦前は二科展を中心に発表を行いながら、雑誌の挿絵や表紙絵の制作でも活躍。戦時中は従軍画家として藤田嗣治、小磯良平らとともにマレー半島、タイ、シンガポールなどに渡り《山下、パーシバル両司令官会見図》(1942年)をはじめ、数々の作戦記録画を制作しました。戦後は、熊谷守一、田村孝之介らと第二紀会を設立。生来の素描力を土台に、さまざまに画風を変えながらも、人物を主たるテーマとして制作、晩年は花と裸婦を主題にした豪華絢爛な絵画世界を構築します。1974年10月13日、腸閉塞による心臓衰弱のため、69歳で他界。



撮影 藤原正 撮影年不詳

## □講演会やワークショップ、コンサートなどの開催について

イベントの開催につきましては、当館ホームページでお知らせいたします。

[参考] 過去の活動



サマー・ワークショップ2019  
写真でまねっこ！絵の中の衣装をつくって  
演じてみよう (2019年8月9日-11日開催)



ニューイヤー・コンサート  
アコルディ弦楽四重奏団  
(2020年1月26日開催)



ワークショップ2023  
コサージュづくりで感じる 宮本三郎の花  
(2023年8月20日開催)

## □ご来館の際のお願い

- ・ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒、検温にご協力ください。  
館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。
- ・展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合がございます。
- ・会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

## □交通案内

東急東横線・大井町線「自由が丘」駅下車／徒歩7分  
東急大井町線「九品仏」駅下車／徒歩8分  
東急目黒線「奥沢」駅下車／徒歩8分  
東急バス(渋11) 渋谷駅～田園調布駅「奥沢六丁目」下車／徒歩1分  
東急バス(園01) 千歳船橋～田園調布駅「浄水場前」下車／徒歩10分  
※当館の来館者用駐車場は、車椅子の方用スペース1台分のみとなります

## □お問い合わせ先

宮本三郎記念美術館(広報担当)  
E-mail: miyamoto.annex@samuseum.gr.jp  
TEL: 03-5483-3836

世田谷美術館分館

**宮本三郎記念美術館**